

一年を通じて葉の色が変わる“虹の木”

七色櫨



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	なないろがし
所在地	鏡野町羽出
指定年月日	平成15年3月11日
解説	ウラジログシの変異種で、四季を通じて葉の色が移り変わる櫨である。4月の新緑の頃は美しい赤色となり、やがて葉緑素が発生して橙から黄色と変化し、続いて黄緑から緑となり、さらに濃緑色になっていき、冬季は部分的に枯れるため、枯れた黄と枯れない緑とが斑があるように美しい模様が生じる。実生もなく、とり木・挿し木も不能で、この珍しい変色の原因も不明である。推定樹齢200年。
アクセス方法	車：院庄ICより約30分
公開状況	自由
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	七色檜
よみかた	なないろがし
しょざいち (所在地)	鏡野町羽出
していたひ (指定した日)	平成15年3月11日
せつめい	四季(しき)を通(つう)じて、葉(は)の色が 変(か)わっていく、とてもめずらしいカシの 木です。4月は赤く、そこからだんだんと、 だいたい色、黄(き)色、きみどり、みどり、 こいみどりへと変わっていき、さらに冬は 部分的(ぶぶんてき)に枯(か)れるため、 黄と緑のまだらもようとなります。なぜこの ように色が変わっていくのかは分かってい ません。